

## 2年ファインアート科版画専攻

# 木版画

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ【工房】修得単位： 単位

2021/6/28(月)-2021/7/17(土)

9:30-12:40 13:30-16:30

### 授業内容

1年次の「専攻別ワークショップ（版画専攻）」で体験した水性木版画1版単色をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。・版木サイズ300×225mm（4～5版多色）

### 授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月28日	月		日本語		・制作準備～制作エスキース	
2	6月29日	火		現代美術演習B	鈴木	・コラグラフの制作（素材を考	コラグラフ
3	6月30日	水		・コラグラフの制作		・コラグラフの制作	コラグラフ
4	7月1日	木		自主制作 版画概論	鈴木	・コラグラフの刷り（木版画への応用）・木版画について	コラグラフ
5	7月2日	金		木版画下図準備	鈴木	・トレースについて・様々な彫り（コラグラフを参考に）	下図～トレース
6	7月3日	土		自主制作／フランス語／版画講座		彫版	彫版開始
7	7月4日	日					
8	7月5日	月		彫版		彫版	
9	7月6日	火		現代美術演習B	鈴木	・様々な摺り 一摺り方による効果一	
10	7月7日	水		彫版～試摺り	鈴木	・和紙の話 彫版～試摺り	摺り開始
11	7月8日	木		自主制作 版画概論		彫版～試摺り	
12	7月9日	金		彫版～試摺り	鈴木	彫版～試摺り	
13	7月10日	土		自主制作／フランス語／版画講座		就職セミナー	
14	7月11日	日					
15	7月12日	月		彫版～試摺り		彫版～試摺り	
16	7月13日	火		現代美術演習B		彫版～試摺り	
17	7月14日	水		彫版～試摺り	鈴木	・様々な摺り 一摺り方による作品の展開一	
18	7月15日	木		自主制作 版画概論	鈴木	彫版～本摺り	本摺り開始
19	7月16日	金		彫版～本摺り	鈴木	彫版～本摺り	
20	7月17日	土		合同講評ガイダンス	鈴木	制作～講評	

### 学習目標

水性多色木版画の作品の制作および基本技術と技法の展開。

### 予習・準備物

筆各種、紙皿2～3枚または紙パレットの小サイズ。筆、紙皿などは沢山あると便利です（100均のもので可）

### 注意事項

刃物を使用するので緊張感を持って制作する。

### 評価方法

提出課題による採点・授業態度・摺りの経験値

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [502] 修得単位： 単位

2021/6/22(火)-2021/9/28(火)

9：30-12：40

### 授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスにコミットし、議論を積み重ねながら作品制作を進めてゆきます。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月22日	火	○	オリエンテーション+講義①		実技カリキュラム	
2	6月29日	火	○	講義②+セッション①		実技カリキュラム	
3	7月6日	火	○	講義③+セッション②		実技カリキュラム	
4	7月13日	火	○	中間講評会		実技カリキュラム	
5	9月7日	火	○	講義④+セッション③		実技カリキュラム	
6	9月14日	火	○	講義⑤+セッション④		実技カリキュラム	
7	9月21日	火	○	講評会		実技カリキュラム	
8	9月28日	火	○	最終講義+総評		実技カリキュラム	

### 学習目標

カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。

### 予習・準備物

授業内でその都度指示する

### 注意事項

特になし

### 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

## 2年ファインアート科版画専攻

# リトグラフ

担当教員 中村真理

受講アトリエ [402・工房] 修得単位：2単位

2021/5/31(月)-2021/6/25(金)

9:30-12:40 13:30-16:30

### 授業内容

リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月31日	月		日本語	○	オリエンテーション、道具の説明	
2	6月1日	火		現代美術演習A		自主制作	
3	6月2日	水	○	描画の進め方、見当の説明、製版のデモ	○	刷りのデモ、版の準備	
4	6月3日	木		版画概論		自主制作	
5	6月4日	金		自主制作/日本語		自主制作	
6	6月5日	土		フランス語 版画講座		自主制作	
7	6月6日	日					
8	6月7日	月		自主制作/日本語		自主制作	
9	6月8日	火		現代美術演習A		紙の準備(いづみ)	
10	6月9日	水	○	白黒1版の製版(全員)	○	白黒1版刷り(全員)、片付け、鑑賞、	
11	6月10日	木		版画概論		自主制作	
12	6月11日	金		自主制作/日本語		自主制作/避難訓練	
13	6月12日	土		フランス語 版画講座		自主制作	
14	6月13日	日					
15	6月14日	月		自主制作/日本語		自主制作	
16	6月15日	火		現代美術演習A		自主制作	
17	6月16日	水	○	ベタ版のデモ、描画	○	描画	
18	6月17日	木		版画概論		自主制作	
19	6月18日	金		自主制作/日本語		自主制作	
20	6月19日	土		フランス語 版画講座		自主制作	
21	6月20日	日					
22	6月21日	月		自主制作/日本語		自主制作	
23	6月22日	火		現代美術演習B		自主制作	
24	6月23日	水	○	製版、刷り	○	製版、刷り	
25	6月24日	木		版画概論	○	製版、刷り	
26	6月25日	金		自主制作/日本語	○	刷り、講評	

### 学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

### 予習・準備物

300×400mm程度の作品のもとになるエスキース、ウエス、新聞紙、紙(試し刷り用上質紙、いづみ等版画用紙)、描画材(ダーマトグラフ、リトクレヨン、とき墨、油性ボールペン等)、筆、マスキングテープ、作業着やエプロン等

### 注意事項

作業行程の多い技法です、計画的に進めること、エスキースは色も含め考えてきてください。白黒1版の試しの作品と4版程度使った多色の作品を制作します。提出は多色作品のみ。

### 評価方法

提出課題による採点

## 2年 ファインアート科版画専攻

# 銅版画

担当教員 山本剛史

2021/5/7(金)-2021/5/29(土)

受講アトリエ [402、工房] 修得単位： 単位

9:30-12:40 13:30-16:30

### 授業内容

エッチング、アクアチント、ドライポイント、リフトグラウンド、ソフトグラウンドエッチング、など銅版画の代表的な技法を紹介します。製版と刷り作業を実演した後、2つ以上の技法を選択し作品制作へと進んでもらいます。『提出用作品』は2枚を予定しています。支持体となる版画用紙はハーネミュレを使用。画面サイズ200×280mm。紙サイズ300×380mm。刷り上げた作品にはサインとエディションを入れて提出していただきます。最後は講評会にて、実際にやってみた感想とそれぞれの作品について皆で話し合い授業を終了とします。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	5月7日	金		日本語	○	オリエンテーション		
2	5月8日	土		フランス語 版画講座	○	実演/講義		
3	5月9日	日						
4	5月10日	月		制作/日本語	○	実演/講義		
5	5月11日	火		現代美術演習A		制作		
6	5月12日	水	2年研修旅行					
7	5月13日	木	2年研修旅行					
8	5月14日	金		制作/日本語	○	試作チェック		
9	5月15日	土		フランス語 版画講座		制作		
10	5月16日	日						
11	5月17日	月		制作/日本語		制作		
12	5月18日	火		現代美術演習A	○	試作チェック		
13	5月19日	水		制作		制作		
14	5月20日	木		版画概論		制作		
15	5月21日	金		制作/日本語	○	試作チェック		
16	5月22日	土		フランス語 版画講座		制作		
17	5月23日	日						
18	5月24日	月		制作/日本語		制作		
19	5月25日	火		現代美術演習A	○	試作チェック		
20	5月26日	水		制作		制作		
21	5月27日	木		版画概論		制作		
22	5月28日	金		制作/日本語	○	試作チェック		
23	5月29日	土		フランス語 版画講座	○	講評会		

### 学習目標

銅版画技法に触れ、この面白さを体感し、今後の制作プロセスの幅を広げて頂ければと思います。銅版画には色々な技法がありますが、その中のいくつかを組み合わせて、自身の作品を制作してもらいます。版画表現は『写し取る』ことによって初めて成立する独特な手法です。どの工程においても丁寧に取り組むことが、作品に驚くほど影響します。この体験によって制作態度における誠意の大切さと『写し取った』自らの作品に対面する新鮮な驚きを学習して頂きたいです。

### 予習・準備物

予習：自分なりに過去の、そして現代までの版画作品を紐解き、好みの作品や版種などを2、3点見つけておいて下さい。準備物：◇インク（グラフィックケミカル/No135c stiff Black）（シャルボネ/セピア）◇グラウンド（文房堂）&（シャルボネ固形）◇裏止め用ワニス◇塩化ビニールシート◇リグロイン◇プリントクリーナー◇人絹◇寒冷紗◇ニードル人数分◇ハーネミュレ（学生購入）◇ピカール◇松脂等アクアセット◇ポスターカラー白&平筆、リフトグラウンドセット◇ソフトグラウンド固形

### 注意事項

版画はその成り立ち上、『一気にやっつける』という手法では作品を仕上げられません。どの工程も分ちがたく意味を持ち、逆に申し上げるなら工程を丁寧に身につければ、作品の質の高さや新しい自分の個性を見いだせるチャンスは高まります。そのことをいつも念頭に置き、授業に臨んで下さい。版画にとって『紙』及び『道具』の扱いは大切です。授業の中で折々触れて参りますのでその扱いの基礎をしっかりと聞き取り、実践して頂くよう取り組んでください。

### 評価方法

課題作品70% 制作態度・積極性30%

## 2年ファインアート科版画専攻

# 版画講座

担当教員 今井圭介

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2021/4/17(土)-2021/7/10(土)

11:10-12:40

### 授業内容

始めに木版画や銅版画など様々な版画について実際の作品や版をみたり画像を通じたりしながら紹介していきます。その後、浮世絵版画や日本の近・現代の版画を中心にしてみています。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月17日	土	○	作品鑑賞と版画について			
2	4月24日	土	○	版画技法の流れ（木版画・銅版画）			
3	5月8日	土	○	版画技法の流れ（石版画・スクリーンプリント）			
4	5月15日	土	○	浮世絵版画（1）			
5	5月22日	土	○	浮世絵版画（2）			
6	5月29日	土	○	司馬江漢と腐食銅版画			
7	6月5日	土	○	幕末から明治期の版画（1）			
8	6月12日	土	○	幕末から明治期の版画（2）			
9	6月19日	土	○	日本近代版画の出発点			
10	6月26日	土	○	「月映」とその仲間たち			
11	7月3日	土	○	現代版画と東京国際版画ビエンナーレ			
12	7月10日	土	○	時代の寵児 池田満寿夫の世界			

### 学習目標

「版画」という言葉は明治の終わり頃につくられた造語ですが、それは版による画（え）を意味し、版の表現を強く意識したものでした。そうした版画についてルーツをたどりながら理解を深めることを目標にします。

### 予習・準備物

授業内容を事前に確認し、ネットや書籍などであらかじめ予習をしてください。また、美術館や博物館などでどのような展示が行われているかチェックし、積極的に利用してください。

### 注意事項

講義で気になったり興味をひかれたことは自身でさらに研究をするように心がけましょう

### 評価方法

授業態度 及びレポート

## 2.3年 ファインアート科版画専攻

# 版画概論

担当教員 天野純治

受講アトリエ【501】 修得単位：1単位

2021/4/15(木)-2021/7/15(木)

11:10-12:40

### 授業内容

現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い現代版表現を考える。

自身の作品をより理解し、制作の可能性を拡げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	木	○	授業説明(版表現について)作品鑑賞		実技カリキュラム	
2	4月22日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
3	5月20日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
4	5月27日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
5	6月3日	木	○	作品プレゼンテーション		実技カリキュラム	
6	6月10日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
7	6月17日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
8	6月24日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
9	7月1日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
10	7月8日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
11	7月15日	木	○	作品プレゼンテーション		実技カリキュラム	

### 学習目標

この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。

現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拡げることを目標とします。

### 予習・準備物

各自、日常的に展覧会(画廊、美術館)を多く見ることから客観性を意識し、作品の持つ考え(コンセプト)に対して考察を行う。

### 注意事項

積極性を持って授業に参加してください。

### 評価方法

授業での積極性。 自身の作品のプレゼンテーション、および研究発表。

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [501] 修得単位： 単位

2021/4/13(火)-2021/6/15(火)

9:30-12:40

### 授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	火	○	オリエンテーション		実技カリキュラム	デッサン道具・画用紙（貸出し画板と同じ大きさを用意）・画板
2	4月20日	火	○	演習I：自己と表現		実技カリキュラム	1年次に制作した作品1点
3	5月11日	火	○	演習II：人の考え		実技カリキュラム	
4	5月18日	火	○	演習III-I：描かれるもの		実技カリキュラム	支持体になる物質・描画材
5	5月25日	火	○	演習IV：色について		実技カリキュラム	水彩絵具・複数の石膏像
6	6月1日	火	○	演習V：破壊と再構成の自画像		実技カリキュラム	雑誌・本・ポスター等持参
7	6月8日	火	○	演習VI：拡張する絵画		実技カリキュラム	水彩紙（B2）・画材・貸し出しカルトン
8	6月15日	火	○	講評		実技カリキュラム	

### 学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

### 予習・準備物

オリエンテーション（初日）は自宅にある画材や道具を用意しておいてください。各授業の最後に次回準備するものをお伝えします。

### 注意事項

### 評価方法

制作姿勢・作品・出席による採点

## 2年 ファインアート科版画専攻

# シルクスクリーン2

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ [402、工房] 修得単位： 単位

2021/4/12(月)-2021/4/26(月)

9:30-12:40 13:30-16:30

### 授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5版以上を使った作品（A3/29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	月		日本語	○	ガイダンス、技法説明	PCを使用したフィルム作成説明
2	4月13日	火		現代美術演習A	○	技法説明	
3	4月14日	水	○	製版説明	○	刷り方説明	
4	4月15日	木		版画概論		制作	
5	4月16日	金		日本語	○	色々な刷り方説明	
6	4月17日	土		フランス語2 版画講座		制作	
7	4月18日	日					
8	4月19日	月		日本語		制作	
9	4月20日	火		現代美術演習A	○	制作	
10	4月21日	水		制作		制作	
11	4月22日	木		版画概論	○	制作	
12	4月23日	金		日本語	○	制作	
13	4月24日	土		フランス語2 版画講座		制作	
14	4月25日	日					
15	4月26日	月		日本語	○	講評	

### 学習目標

シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品（18×25cm位）を1点、5版以上を使った作品（25×38cm位）を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

### 予習・準備物

写真orイラストのデータ(200~300ppi程度の解像度でA4サイズ程度)、下絵(A3程度)、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス（ボロ布）、新聞紙、用紙（いずみまたは厚紙ケント紙）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

### 注意事項

初日までにPCを使用した4色分解による作品用の写真orイラストのデータを用意すること。(短辺が1500pixel以上の物)

### 評価方法

習熟度と提出課題による採点